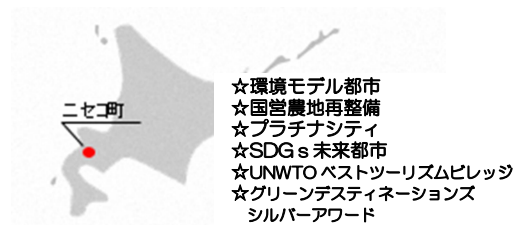


令和7年度 二セコ町当初予算案の概要



令和7年2月
総務課財政係

1 予算規模

<当初予算の内訳>

単位：万円、%

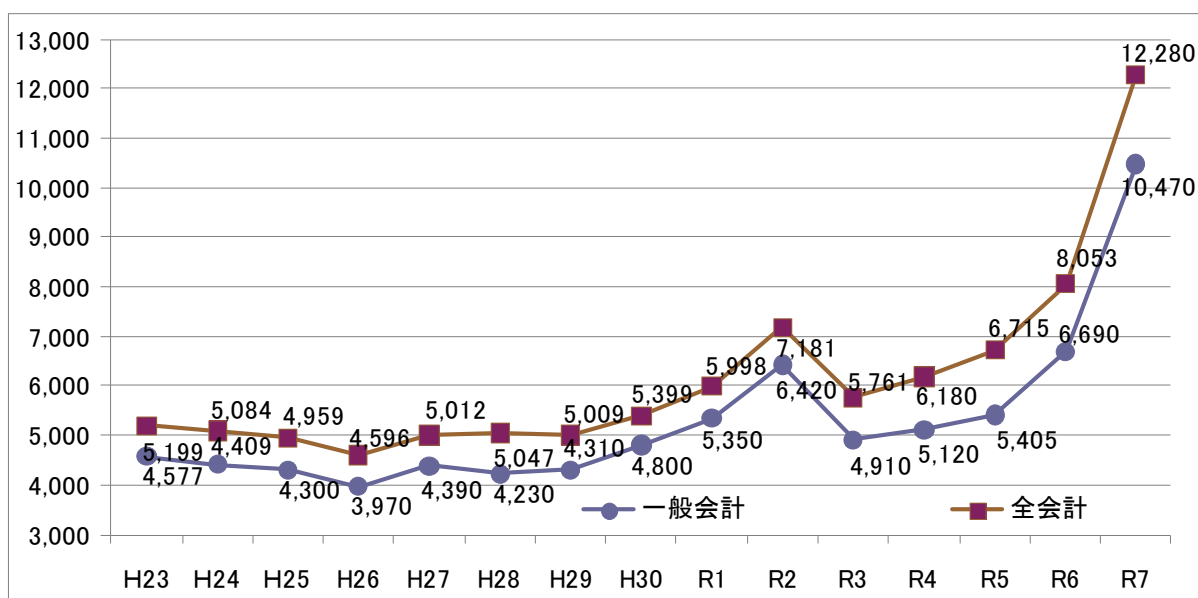
会 計	7年度予算額		6年度予算額		増減比較			
	当初 A	当初 B	現計 C		当初予算比		現計予算比	
					A-B	増減率(%)	A-C	増減率(%)
一 般 会 計	1,047,000	669,000	746,665		378,000	56.5	300,335	40.2
国民健康保険事業特別会計	21,200	21,300	21,335		△ 100	△ 0.5	△ 135	△ 0.6
後期高齢者医療特別会計	7,580	6,960	7,310		620	8.9	270	3.7
合 計	1,075,780	697,260	775,310		378,520	54.3	300,470	38.8
羊蹄山ろく消防組合ニセコ支署	20,240	18,799	18,799		1,441	7.7	1,441	7.7

公営企業会計	7年度支出予算額			6年度支出予算額			増減比較	
	収益的支出	資本的支出	合計(A)	収益的支出	資本的支出	合計(B)	A-B	増減率(%)
簡易水道事業会計	23,147	93,507	116,654	22,099	52,901	75,000	41,654	55.5
公共下水道事業会計	15,826	19,750	35,576	17,979	15,089	33,068	2,508	7.6
合 計	38,973	113,257	152,230	40,078	67,990	108,068	44,162	40.9

※企業会計方式では現金支出が伴わない減価償却費や引当金が含まれております。

<当初予算の推移>

単位：百万円



2 当初予算案の概要

令和7年度予算においても「ニセコ町まちづくり基本条例」の精神を基に、まちづくりの指針となる第6次ニセコ町総合計画の基本理念「こども未来共創都市ニセコ」と3つの将来像のもと、これまで培ってきたまちづくりの基盤を更に充実させ、町民の生活に密着し、持続可能な地域発展に資する諸施策に取り組むこととして予算編成を進めてきました。

予算規模の大きな投資的事業については、①着手継続事業の確実な推進、②将来の持続的発展等に向けた整備、③安心安全を支える社会インフラの整備、④子育て・教育施設の整備、⑤くらしやすさの向上 に向けた整備と優先順位付けをし、将来の安定的な持続発展のため、起債計画や財政状況を踏まえながら中長期的視点を持った予算計上を行いました。

《上記の優先順位付けによる令和7年度の主な投資的事業》

- ①：消防庁舎整備、新団地整備、国営緊急農地再編整備、倶知安厚生病院第2期整備 等
- ②：ニセコ高校寄宿舎整備、ニセコミライインフラ整備 等
- ③：町道歩道整備、橋梁長寿命化、道路排水施設改良、
水道施設更新、下水道管理センター設備更新 等
- ④：学校施設等エアコン設置及びLED 化工事、
給食センター調理機械更新 等
- ⑤：公営住宅改善 等

なお、予算編成過程における職員向けの予算編成説明会、主要事業ヒアリング、予算ヒアリングなどを全て公開で実施してきました。また、予算の議決後は町民向けの予算説明書「もっと知りたいことしの仕事」を全戸配布（ホームページでも公開）することにより、予算内容をお伝えします。まちづくり基本条例のもと、引き続き予算編成過程の公開とわかりやすい情報提供に努めます。

令和7年度の各会計予算総額は122億8,010万円で、前年度比+42億2,682万円（+52.5%）となりました。一般会計予算額は104億7,000万円で、前年度比+37億8,520万円（+56.5%）となり、過去最大の予算規模となりました。主な要因は、消防庁舎再整備事業やニセコ高校寄宿舎整備事業等のハード事業増加によるものです。

ニセコ町の価値を将来に継承していくため、令和7年度は次の事業に取り組み、ニセコ町のまちづくりをより一層充実させます。

【農業生産基盤整備】	
国営緊急農地再編整備	4,651 万円◎
【農林業振興】	
多面的機能支払交付金	3,897 万円◎
農業次世代人材投資資金	1,485 万円◎
林業振興	3,109 万円◎
有害鳥獣対策	1,612 万円◎◎
【観光振興】	
観光ＤＸ・シェアリングサービス推進	7,281 万円◎◎
観光振興（観光協会支援 等）	5,411 万円◎
宿泊税施設環境負荷軽減対策	4,936 万円◎
【商工業振興】	
商工業振興（商工会支援 等）	5,384 万円◎◎
【母と子の健康推進】	
妊婦健診・産後ケア・不妊不育治療費助成 等	1,564 万円◎◎
【子育て支援の充実】	
子ども医療費拡大助成	1,320 万円◎
物価高騰対応（小中学校の給食費支援、地域ポイント付与）	2,981 万円◎
ファミリーサポートセンター運営	1,264 万円◎
【社会福祉の充実】	
社会福祉事業補助	7,043 万円◎
（社会福祉協議会、グループホーム、居宅介護支援 等）	
【地域医療の確保】	
倶知安厚生病院第２期整備費用負担金	2,242 万円◎
倶知安厚生病院救急医療等体制整備補助	1,602 万円◎
【環境対策】	
公共施設太陽光発電設備設置	1 億 3,521 万円◎
二セコスタンダード住宅推進補助	2,500 万円◎
環境負荷低減モデル集合住宅整備促進補助	1,000 万円◎
【SDGs 推進】	
SDGs 推進	7,212 万円◎
【教育環境の充実】	
二セコ高校寄宿舎整備	12 億 5,044 万円◎
教育備品等整備（二セコ高校、学校給食調理器具等）	9,411 万円◎◎
教育施設改修（二セコ小学校、近藤小学校 等）	1,580 万円◎
【地域防災拠点整備】	
消防庁舎再整備	19 億 958 万円◎
指定避難所環境改善（二セコ駅前温泉綺羅乃湯、総合体育館等）	8,014 万円◎
【生活基盤の整備】	
新団地整備	4 億 1,936 万円◎
町道等整備改修（町道二セコミライ通道路整備等）	4 億 1,198 万円◎◎
地域交通事業（周遊バス拡充、タクシー不足対策等）	5,985 万円◎◎
農村公園遊具設置	1,317 万円◎
（持続可能なまちづくりの推進、地域資源活用に向けた体制構築 等）	
【地域づくりの人材確保】	
地域おこし協力隊、集落支援員	1 億 5,810 万円◎
国際交流員・外国語指導助手	4,505 万円◎
【水道・下水道施設の整備 ※公営企業会計】	
水道施設拡張整備（市街地区浄水場整備 等）	7 億 394 万円◎
市街地区配水管布設	1,587 万円◎
下水道管理センター設備更新	7,620 万円◎
公共下水道污水管渠整備	1,720 万円◎◎

一般会計予算案の概要

【歳 入】

- 町税は、まず町民税について、3億4,250万円（前年度比+2,500万円）、固定資産税は、5億7,000万円（前年度比+3,308万円）を計上しています。また、令和6年度から開始した宿泊税を1億2,100万円、入湯税は、6,000万円（前年度比△1,000万円）を見込み、軽自動車税やたばこ税を含めた町税総額は11億4,400万円（前年度比+1億7,000万円）となりました。
- 地方交付税は、25億5,000万円（前年度比+2億3,000万円）を計上しています。普通交付税は、令和6年度の追加交付を除く交付実績と地方財政計画に基づく算定により、21億1,000万円（前年度比+1億2,000万円）を見込みました。特別交付税については、指定避難所の環境改善の事業規模増加等を見込み、4億4,000万円（前年度比+1億1,000万円）を計上しています。
- 町債は、消防庁舎再整備、二セコ高校寄宿舍整備、新団地整備、町道二セコミライ通整備、俱知安厚生病院第2期整備費用などの借入金を計上しました。このほか過疎ソフトなどの借り入れを含め、町債総額は40億8,630万円（前年度比+27億9,250万円）を見込んでいます。

【歳 出】

- 普通建設事業費は、45億5,085万円（前年度比+31億4,451万円）となりました。主な要因は、消防庁舎再整備や二セコ高校寄宿舍整備、新団地整備によるものです。
- 人件費は、13億6,101万円（前年度比+1億3,082万円）となりました。主な要因は、昨年度の人事院勧告による一般職員と会計年度任用職員の給与増よるものです。
- 公債費は、7億1,756万円（前年度比+1億171万円）となりました。このうち元金6億6,034万円、利子5,721万円です。公債費の増加は将来の財政圧迫の一因となることから、負担が過度に拡大しないよう留意するほか、中長期的に公債費が減少となるよう起債計画を定め、財政状況に応じた調整を図っていきます。
- 補助費等は、14億8,975万円（前年度比+1億9,492万円）となりました。主な要因は、宿泊税関連の新規事業やシステム標準化に伴う負担金の増額などによるものです。

特別会計予算案の概要

特別会計に対する一般会計繰出金（一部補助金）は、昨年とほぼ同額の合計で2億1,140万円（前年度比+572万円）となりました。

○国民健康保険事業特別会計予算額は、2億1,200万円で前年度比 $\Delta 100$ 万円（ $\Delta 0.5\%$ ）となりました。保険料の収支不足に対して国民健康保険基金繰入金896万円（前年度比 $\Delta 550$ 万円）を計上することにより、収支均衡を図ります。

○後期高齢者医療特別会計予算額は、7,580万円で前年度比+620万円（+8.9%）となりました。主な要因は、北海道後期高齢者医療広域連合負担金の増額によるものです。

公営企業会計予算案の概要

公営企業会計に対する一般会計からの繰出は、合計で2億949万円（前年度比 $\Delta 2,881$ 万円）となりました。主な要因は、上下水道課職員の人事異動に伴う人件費の減額と公共下水道事業会計において特定財源の対象とならない下水道管理センターの機械設備の点検整備費用及び修繕費用が減少したことによるものです。今後も施設の予防保全補修や計画的な更新により将来コストの抑制に努めます。

○簡易水道事業会計の予算額は、収益的支出で2億3,147万円、資本的支出で9億3,507万円、合計11億6,654万円で前年度比+4億1,654万円（+55.5%）となりました。主な要因は、市街地区浄水場整備事業が始まったことによる増額です。このほか老朽化が進む水道施設の維持補修や更新工事を実施します。

○公共下水道事業会計の予算額は、収益的支出で1億5,826万円、資本的支出で1億9,750万円、合計3億5,576万円で前年度比+2,508万円（+7.6%）となりました。主な要因は、下水道污水管渠整備及び下水道管理センター設備更新が増額なっています。

3 一般会計の款別・性質別予算

<歳入款別>

単位：万円、%

歳 入 (款 別)							
款	区 分	本年度予算	前年度予算	増 減 額	増減率	予算構成比	
		A	B	A-B		本年度	前年度
1	町税	114,400	97,400	17,000	17.5	10.9	14.6
2	地方譲与税	6,123	6,059	64	1.1	0.6	0.9
3	利子割交付金	20	20	0	0.0	0.0	0.0
4	配当割交付金	200	180	20	11.1	0.0	0.0
5	株式等譲渡所得割交付金	160	140	20	14.3	0.0	0.0
6	法人事業税交付金	1,100	1,000	100	10.0	0.1	0.1
7	地方消費税交付金	13,200	12,200	1,000	8.2	1.3	1.8
8	ゴルフ場利用税交付金	300	250	50	20.0	0.0	0.0
9	環境性能割交付金	500	300	200	66.7	0.0	0.0
10	地方特例交付金	200	2,200	△ 2,000	△ 90.9	0.0	0.3
11	地方交付税	255,000	232,000	23,000	9.9	24.4	34.7
12	交通安全対策特別交付金	60	60	0	0.0	0.0	0.0
13	分担金及び負担金	2,841	2,788	53	1.9	0.3	0.4
14	使用料及び手数料	17,334	16,303	1,031	6.3	1.7	2.4
15	国庫支出金	81,221	41,551	39,670	95.5	7.8	6.2
16	道支出金	25,974	25,379	595	2.3	2.5	3.8
17	財産収入	2,973	2,660	313	11.8	0.3	0.4
18	寄附金	11,437	16,360	△ 4,923	△ 30.1	1.1	2.4
19	繰入金	65,861	55,634	10,227	18.4	6.3	8.3
20	繰越金	5,000	5,000	0	0.0	0.5	0.7
21	諸収入	34,466	22,136	12,330	55.7	3.3	3.3
22	町債	408,630	129,380	279,250	215.8	39.0	19.3
歳 入 合 計		1,047,000	669,000	378,000	56.5	100.0	100.0

<歳出款別>

単位：万円、%

歳 出 (款 別)							
款	区 分	本年度予算	前年度予算	増 減 額	増減率	予算構成比	
		A	B	A-B		本年度	前年度
1	議会費	4,692	4,844	△ 152	△ 3.1	0.4	0.7
2	総務費	389,882	260,423	129,459	49.7	37.2	38.9
3	民生費	69,013	60,125	8,888	14.8	6.6	9.0
4	衛生費	64,479	51,994	12,485	24.0	6.2	7.8
5	労働費	212	211	1	0.5	0.0	0.0
6	農林水産業費	25,535	25,332	203	0.8	2.4	3.8
7	商工費	36,559	22,648	13,911	61.4	3.5	3.4
8	土木費	147,780	95,225	52,555	55.2	14.1	14.2
9	消防費	20,240	18,146	2,094	11.5	1.9	2.7
10	教育費	216,452	67,907	148,545	218.7	20.7	10.2
11	災害復旧費	100	260	△ 160	△ 61.5	0.0	0.0
12	公債費	71,756	61,585	10,171	16.5	6.9	9.2
13	予備費	300	300	0	0.0	0.0	0.0
歳 出 合 計		1,047,000	669,000	378,000	56.5	100.0	100.0

<歳出性質別>

単位：万円、%

歳 出 （ 性 質 別 ）								
区 分			本年度予算 A	前年度予算 B	増 減 額 A-B	増減率	予算構成比	
							本年度	前年度
經常的經費	義務的經費	人件費	136,101	123,019	13,082	10.6	13.0	18.4
		扶助費	33,250	28,838	4,412	15.3	3.2	4.3
		公債費	71,756	61,585	10,171	16.5	6.9	9.2
		小 計	241,107	213,442	27,665	13.0	23.0	31.9
	物件費	旅費	3,664	4,001	△ 337	△ 8.4	0.3	0.6
		交際費	451	411	40	9.7	0.0	0.1
		需用費	27,794	26,768	1,026	3.8	2.7	4.0
		役務費	7,387	5,799	1,588	27.4	0.7	0.9
		委託料	71,184	68,699	2,485	3.6	6.8	10.3
		備品費	11,759	4,508	7,251	160.8	1.1	0.7
		その他	20,169	17,169	3,000	17.5	1.9	2.6
		小 計	142,408	127,355	15,053	11.8	13.6	19.0
	維持補修費		27,680	27,236	444	1.6	2.6	4.1
	補助費等		148,975	129,483	19,492	15.1	14.2	19.4
	計		560,170	497,516	62,654	12.6	53.5	74.4
臨時的經費	事業費 普通建設	補助事業費	105,312	37,656	67,656	179.7	10.1	5.6
		単独事業費	349,773	102,978	246,795	239.7	33.4	15.4
		道営事業費	0	0	0	0.0	0.0	0.0
		国直轄負担金	0	0	0	0.0	0.0	0.0
		小 計	455,085	140,634	314,451	223.6	43.5	21.0
	災害復旧事業費		100	260	△ 160	△ 61.5	0.0	0.0
	投資及び出資金		0	0	0	0.0	0.0	0.0
	貸付金		910	910	0	0.0	0.1	0.1
	積立金		9,295	8,812	483	5.5	0.9	1.3
	繰出金		21,140	20,568	572	2.8	2.0	3.1
	予備費		300	300	0	0.0	0.0	0.0
	計		486,830	171,484	315,346	183.9	46.5	25.6
歳 出 合 計			1,047,000	669,000	378,000	56.5	100.0	100.0

4 主な取組み

地域循環型経済の確立

①国営緊急農地再編整備 継

基幹作物の安定生産と重点作物の定着による収益性向上を目指し、農地の区画整理や傾斜改良、用排水路の一体的な整備を行います。整備計画は全体で1,490haとなっており、今後も農地集積の権利調整を担う換地計画の作成を進めます。また、夏期施工などによる農業者の所得損失を緩和するため、国の制度を活用した支援を引き続き行います。なお、国営緊急農地再編整備事業による後年の財政負担については、基金を毎年積み立てており、計画的に平準化を図っています。

②農業多面的機能の促進 継

農業が持つ多面的機能を発揮するため、協定を結んだ地域の共同活動や地域資源向上を図る活動に対し、国50%、道25%、町25%を支援します。

③農業担い手対策 継

農業担い手対策として、就農準備や経営開始時の不安定な経営確立を図るための支援を行います。また、新たな農業経営体を確保するため、経営計画の基準を満たす小規模経営就農者や農業大学の進学者に対する貸付制度を実施します。

④高品質米・酒米生産の推進 継

クリーン農業と高品質米の産地定着のほか、酒米の生産を支援するため、一定のタンパク基準をクリアした米・酒米生産者に対する補助制度を継続します。

⑤自給飼料生産拡大緊急対策 継

飼料の価格高騰により影響を受けている酪農家に対して、集約草地の使用料補助や牧草ロールの売払い補助、飼育頭数に応じた補助など、町独自の支援を継続します。

⑥観光振興対策 新・継

令和6年度に開始した宿泊税を活用し、地域交通の充実と宿泊事業者を対象とした「二セコ町脱炭素・再エネ推進事業補助金」の上乗せによる環境負荷軽減等を実施します。また、国際基準であるGSTCの推進により、持続可能な観光モデルの構築を継続して目指します。

⑦二セコ観光圏の推進 継

倶知安町、蘭越町と共に広域で取り組む二セコ観光圏について、二セコエリア全体としての地域ブランド戦略を推進します。引き続き、中核となる人材育成や海外プロモーションの展開等に取り組みます。

⑧域内消費の拡大 継・拡

消費意欲の向上と商業の活性化のほか、子育て世代の町内消費拡大と子育て家庭への生活支援を目的に綺羅カードを活用した支援を拡充し実施します。

⑨商業の振興や賑わいの創出 継・拡

町内において小規模事業所を新設又は継承して新たに起業する方、又は業種の転換や事業所の拡張など積極的な事業展開を推進するため「にぎわいづくり起業家等サポート事業」等の支援を継続します。また、「特定地域づくり事業協同組合」を設立し、移住促進施策と連携した人材確保の仕組みづくり推進していきます。

⑩観光DX・シェアリングサービスの推進 継

観光協会・商工会と連携し、「DX（デジタル技術の活用）」、「シェアリングサービス（共有・共助の仕組みづくり）」、「地域ポテンシャル（地域資源・人材・財源の活用）」を組み合わせ持続可能な地域づくりに寄与する取り組みとして、カーシェアリングやSNS・デジタルデータ等を活用した事業を推進していきます。

誰もが健やかに笑顔で暮らせるまちづくり

①予防接種の推進と子ども医療費の無料化 継

1歳から就学前までの小児への感染症対策として法律に基づく定期予防接種のほか、おたふくかぜやインフルエンザ、帯状疱疹予防接種などの任意予防接種を支援します。

また、18歳までの子ども医療費について、所得制限を撤廃し無料化する取り組みを継続実施します。

②母と子の健康推進 継・拡

新生児の聴覚異常の早期発見と早期治療につなげる新生児聴覚検査のほか、妊婦健診、不育症治療と先進医療による不妊治療費の助成を行います。また、出産・子育て応援交付金を活用し、妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援を継続して実施するほか、産後ケア事業として、新たに通所型、訪問型を導入します。

③子育て支援の充実 継・拡

ゴールデンウィークと年末年始の休日子どもの預かり事業に加え、冬の子どもの遊び場を確保するためキッズパーク事業を支援します。また、子どもの送迎や一時的な預かりを担うファミリーサポートセンター事業を継続して実施します。施設面では、こども館のエアコン設置工事を実施します。

このほか保護者の負担軽減として、小中学校の学校給食費の無償化を試行します。また、子ども達が購入するリフト券やシーズン券の助成のほか、小学校1～3年生の保護者に対するリフト券の助成を継続して実施します。

④高齢者福祉対策 継

社会福祉協議会による在宅高齢者の介護事業や移送事業の運営経費を支援します。配食事業については、町内業者と連携を図り高齢者の見守りを合わせて実施します。

⑤グループホーム運営支援 継

介護スタッフによる食事、入浴等の生活支援や機能訓練により、住み慣れた地域で安心して共同生活ができるよう認知症高齢者グループホームの運営経費を支援します。

⑥健康診査の無料化と受診率向上の取り組み 継・拡

一定の障がいのある65歳以上及び75歳以上の特定健診については、受診者の負担軽減と受診率向上につなげるため無料とします。また、国民健康保険事業として、病気の早期発見による重症化の予防や医療費の抑制を図るため、40歳以上の特定健診にかかる費用の無料化を継続するとともに、人間ドックの自己負担額を1万2,000円から6,000円に減額します。生活習慣病重症化予防及び特定健診受診率向上のため健康アプリを新規で導入します。

⑦地域医療の確保 継

地域医療や救急医療の確保など、俱知安厚生病院の赤字補填を行うため、病院所在地である俱知安町を中心とした近隣町村と運営経費を支援します。また、俱知安厚生病院第2期整備費用負担金として、令和7年度は主に旧棟の解体工事を予算計上しています。このほかニセコ医院の医療設備に係る保守費用の支援も引き続き行います。

環境に優しいニセコの創造

① 持続可能なまちづくりの推進 継・拡

近年の人口増加に対応するため、市街地近郊の9haの土地に環境配慮型の街区を整備しています。令和7年度も引き続き実施主体の(株)ニセコまちによる分譲住宅と集合住宅の建設工事を進め、町では道路整備及び下水道のインフラ整備、防火水槽の設置に取り組みます。このほか地方創生推進交付金を活用し、共感や多様な連携による持続可能なまちづくりを推進するための事業を継続して実施します。

さらに、役場庁舎などの公共施設への太陽光発電設備を設置する工事を実施するほか、住宅や事業所に太陽光発電設置する際の補助を継続し、持続可能で環境に配慮したまちづくりを推進していきます。

②林業振興 継・拡

森林の有する公益的機能を重視した森林づくりを目指し、森林組合等と連携しながら民有林の整備や除間伐を支援します。また、令和4年度に設立した(株)ニセコ雪森考舎と連携し林業振興人材の育成や、町産材の地域内循環の活用を検討することにより、林業の振興を推進します。このほか、適切な森林管理のため新たな林道整備を令和13年度までの継続事業として実施します。

③環境負荷低減型民間集合住宅の整備促進 継

民間集合住宅の環境負荷低減の取り組みや優良なストック形成などを促進するため、断熱性能や遮音性能の高い基準を満たす集合住宅に対し、建設費の一部を助成します。

④環境と調和した農業の推進 継

堆肥センターを中心とする資源循環型のクリーン農業を推進するため、完熟堆肥流通促進補助のほか、コンポスト堆肥を農業者や市民に還元することで、更なる循環型農業の推進や環境意識の醸成につなげます。

豊かな心と個性ある文化を育む

①教育環境の充実 拡

コミュニティスクールの推進と、各学校や幼児センターが連携したニセコスタイルの一貫教育に取り組みます。また、個別配慮が必要な児童生徒の学習や生活面の支援を行う特別支援講師の配置や学校生活における児童生徒の心のケアに携わるスクールカウンセラーの派遣を継続します。

学習面では、小学校から高校まで学習支援アプリを新規導入し、ICTを活用した学びを充実していきます。施設面では、ニセコ小学校の第2期エアコン設置工事のほか近藤小学校照明及び有島記念館のLED化を実施するほか、総合体育館の改修に向け実施設計を行います。

②外国語教育の推進 継

幼児期から国際理解と英語教育による国際感覚を醸成するため、外国語講師を継続配置します。また、ニセコ高校における修学旅行では、旅行先をマレーシアとして現地ホテルスクールとの連携によるホテル実習体験などを実施し、国際社会に通用する人材育成に取り組みます。

③ニセコ高校の魅力化 新・継

令和8年度に総合学科へ学科転換を予定しているニセコ高校では国際教育を特色とする学校へ向けて魅力化の取組を進めます。令和7年度は新寮の建設工事を実施するほか、探究型学習や教育DXを進めるための環境整備を引き続き行います。また、校内留学施設「Niseko World Village」を活用し、日常的に英語や海外の文化に触れたり、楽しみながら国際感覚を身に付けられる取組を推進します。

④国際化の推進 継

国が行うJETプログラムを活用し、国際交流員（CIR）と外国語指導助手（ALT）の派遣を受け入れます。外国語刊行物の編集・翻訳や交流活動の企画・立案、各学校での英語・国際教育により文化交流の機会を創出し、地域の国際化を図ります。

⑤スポーツ選手による指導・交流 継

北海道日本ハムファイターズとの連携による野球教室やアスリートを招き、本物の選手に触れることで運動技術・知識・意欲の向上を図るほか、北海道応援大使プロジェクトとしてファイターズ試合観戦ツアーなどを実施します。

安全で安心な暮らしを支える

① 防災・災害体制の強化 継

災害時の防災機能を十分に備えた拠点整備として、築４９年が経過する消防庁舎の建設工事を実施します。このほか指定避難所となっているニセコ駅前温泉綺羅乃湯の老朽化に伴う屋根防水や設備等の更新工事を行います。

② 消防・救急活動の強化 継

救急救命士の救急活動により、器具気道確保や静脈路確保、薬剤投与の救命措置を行い、蘇生率向上に努めます。

③コミュニティFMの推進 継

町民参加による地域密着型の放送局「ラジオニセコ（周波数７６．２MHz）」のラジオパーソナリティの研修育成を図りながら、行政情報や防災情報、議会放送に加え、地域・観光情報を幅広くお知らせするための運営経費の支援を継続します。

④消費生活対策 継

不当な勧誘などの生活相談に対応するため、倶知安町を除く周辺７町村による「ようてい地域消費生活相談窓口」を共同運営します。

⑤地域交通の確保 継・拡

デマンドバスの運行経費を支援し、引き続き域内交通の安定確保と利便性の向上に取り組みます。また、スクールバスの滞在緩和に向けた取り組みとして、デマンドバスの朝一運行を継続し、郊外に住む子ども達の通学環境の改善を図ります。

このほかタクシー不足解消に向けた「ニセコモデル」やニセコ周遊バスを冬季運行だけでなく、夏季運行の実施についてもバス事業者と協議を進め、域内交通の拡充に取り組みます。

⑥道路交通網の改善 新・継

町道ニセコミライ通道路整備工事や町道中学校通歩道整備工事、町道中学校西通新設工事などを実施します。このほか道路維持管理計画に基づく予防保全補修について、制度延長された有利な起債を活用しながら適正な維持管理に努めます。また、除雪機械のオペレーター不足に対応するため、免許取得費への支援を継続して実施します。

⑦公営住宅の住環境改善 新

住宅不足やミスマッチの解消に向け令和6年度から引き続き新団地の建設を実施します。また、「ニセコ町公営住宅等長寿命化計画」に基づき望羊団地（A・B棟）長寿命化型複合改善工事实施設計を実施するほか、のぞみ団地3号棟屋根防水工事を実施します。

⑧上下水道施設の拡張・更新 拡

上下水道施設の計画的な更新を進めます。令和7年度は市街地区浄水場整備事業・市街地区導水管布設・市街地区配水管布設、老朽化に伴う水道設備更新、下水道污水管渠整備・下水道管理センター設備更新等を行います。

未来を見据えた行財政の基盤づくり

① 総合計画によるまちづくり 継

第6次ニセコ町総合計画に掲げる「こども未来共創都市ニセコ ～ニセコ町の美しい景観と自然を未来のこどもたちへ～」の基本理念のもと、自治創生総合戦略、SDGs 未来都市計画、ニセコ町脱炭素アクションプラン、強靱化地域計画など重要な計画に基づくまちづくりを推進します。

②戦略的な行財政改革 継

国の地方財政計画や町の投資的事業計画等に基づき、戦略的な行財政改革に努めます。今後は限られた財源の中で、最大限の歳入確保や歳出事業の見直し、公共投資の最適化を図ることが不可欠であり、最も効率的で効果的な方法を検証しながら透明性の高い行財政運営を行います。

また、過疎地域からの卒業を見据えた財源確保を強化していきます。補助金や交付金の獲得はもちろんのこと、ふるさとづくり寄付については、地域産品の一層の充実強化を図り、寄付者の想いが地域へとつながり、魅力あるまちづくりが展開できるよう今後も節度ある運用を継続しつつ寄付額の増加を目指します。企業版ふるさと納税についても、新たな財源確保としてニセコ町のまちづくりに共感していただける企業との多様な連携の構築に努めます。

③地域づくりの人材確保 継

地域おこし協力隊や集落支援員の制度を活用し、地域の課題解決と定住人口の増加を目指します。地域づくりの担い手には、自らの主体性を生かし、地域との創造的摩擦を乗り越えながら地域力向上へとつながるよう町としてもサポートしていきます。なお、地域おこし協力隊及び集落支援員に要する経費については、財源措置として特別交付税が交付されます。

④町税等収納対策の強化 継

コンビニエンスストアやスマホアプリを利用した納税、ネット銀行の口座振替など

活用し収納率向上に努めます。

また、滞納者に対して早期からきめ細やかな催告を行うとともに、税を納付できる力を早期に見極め、経済力があっても納税に応じない滞納者には、年度内から差し押さえなどの滞納処分を執行し、今後の自主的な早期完納を促します。

⑤戸籍住民票事務の強化

町民の生活とまちづくりの基本となる戸籍や住所、印鑑の登録に関する届出とその証明、個人番号カード（マイナンバーカード）に係る事務について、関係法令に基づき適正な処理と個人情報の保護に努めます。このほかマイナンバーカードを利用したコンビニでの住民票、印鑑証明書の交付や戸籍証明等を最寄りの市町村窓口で請求することができるなど住民の利便性の向上を図ります。

⑥業務改善の推進

令和8年度からのシステム標準化・共通化に向け関連システムの改修を進めるほか、新たに文書管理システムの導入や内部システムの見直しを図ることで業務効率化やペーパーレス化を推進していきます。

5 財源の調整

行財政の課題解決として、各部署での歳出予算額が提示され、歳入予算額と比較して17億円を上回る予算乖離となりましたが、投資的事業の優先順位付けや経常的経費の抑制による見直し、補助金・有利な起債等の財源確保を行い、予算乖離は4億7,300万円（前年度比△600万円）まで圧縮しました。

この収支不足額については、重点事業の実施、計画的な施設管理、将来を見据えた社会的投資のほか、令和7年度は物価高騰の影響により人件費や各種経費が増加しており、財政調整基金2億8,000万円（前年度比△2,000万円）、公共施設整備等基金1億5,000万円（前年度比+2,700万円）、地域福祉基金4,300万円（前年度比△1,300万円）の繰り入れをもって、収支均衡を図ります。

予算の執行においては、更なる財源確保と経費節減・効率的執行に努め、決算での基金繰入額の圧縮を図ります。

また、町債発行にあたっては、令和7年度に事業が集中していることから町債が増加しており、今後の財政状況や投資的事業の見通しを基に起債計画を更新し、町債残高（借入金残高）及び公債費（借入金返済額）の動向に注視した財政運営を行っていきます。

【 この資料のお問合せ 】

ニセコ町総務課財政係

担 当： 係長 浅井

業務時間： 8:30 から 17:15 まで

電 話： 0136-44-2121

メー ル： zaisei@town.niseko.lg.jp

